

もみがらキャリア まくもん

取扱説明書



 **ご使用前に必ずお読みください**

このたびは、もみがらキャリアをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書をご熟読いただき、よく理解されたうえで安全に作業を行ってください。
お読みになったあとも、この取扱説明書は大切に保管してください。

株式会社 富士トレーラー製作所

2019年1月

はじめに

このたびは、もみがらキャリア まくもんをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この取扱説明書には、正しい取り扱い方法と安全に操作する方法について詳しく記載してあります。
もみがらキャリアをご使用になる前に、本書全ての項目を熟読の上よくご理解いただき、安全に作業を行ってください。

◎ 注意表示について

使用上、特に重要と考えられる注意事項について下記のように表示しています。
必ず守り作業をしてください。

-  **危険** 注意事項を守らない場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
-  **警告** 注意事項を守らない場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
-  **注意** 注意事項を守らない場合、ケガを負うおそれがあるものを示します。

◎ 本製品(もみがらキャリア まくもん)の使用目的

- もみがら散布作業に使用し、使用目的以外の作業には決して使わないでください。
- もみがらキャリアは、決められた適応馬力で設計しています。
適応馬力の範囲内で使用してください。範囲を超えての使用は、故障の原因になります。
- もみがらキャリアは「標準3点リンク」「特殊3点リンク」で設計しています。
他の規格では、装着ができません。
- もみがらキャリアの改造は、決して行わないでください。

◎ 安全対策について

本作業機に関する危険をすべて予測することができません。また、取扱説明書や警告ラベルでその危険をすべて伝えることができません。したがって、作業機の運転、保守作業については、一般的に求められる安全対策の配慮が必要です。

目次

安全に作業をするまえに	1
運転前の注意事項	2
点検・整備の注意事項	2
作業時の注意事項	2
各部名称	
MGC-301	3
MGC-401	4
枠 組み立て順序	
MGC-301	5
MGC-401	6
トラクターへの装着の仕方	7
1. トラクター装着の規格について	7
2. 日農工特殊3点オートヒッチ/ 日農工標準3点オートヒッチの装着順序	7
3. 標準3点リンクの装着順序	8
配線図	9
もみがらの投入と注意点	10
もみがらの散布と注意点	11
清掃と注意点	13
次年度使用前の確認	13
オプション	13
吊り上げ作業と注意点	14
フォークリフトでの運搬作業と注意点	14

【安全に作業をするまえに】

本機をご使用になる前に「取扱説明書」をよく読み、注意事項を守り安全に作業をしてください。

運転前の注意事項



1) こんなときは運転しない

病気のときは運転しないでください。

飲酒時や気分がすぐれず集中できないときは運転しないでください。

2) 作業時の服装

だぶついた服装での作業はしないでください。

サンダルなどの脱げやすい靴は履かないでください。

ヘルメットを着用してください。

3) 他人に貸すときは取扱の説明をする

本機を他人に貸すときは操作の仕方を教え、取扱説明書を必ず読むようにしてください。

▲誤った使い方をすると事故や機械の破損をまねくおそれがあります。

4) トラクターに本機を装着する前にはトラクターの取扱説明書を読む

トラクターに本機を装着する前にはトラクターの取扱説明書を読み、適した操作方法を確認してから装着してください。

▲誤った使い方をすると事故や機械の破損をまねくおそれがあります。

5) 重量バランスを確認して調整をする

もみがら投入後は重量バランスを確認して、

必要な場合はトラクターにバランスウェイトを取り付けてください。

6) 電動アクチュエーターの使い方

12Vにしてください。

アクチュエーターは直流12V以外は使用しないでください。

12V以外では火災・感電の原因になります。

運転前の注意事項



1) 装着時には公道の走行は禁止

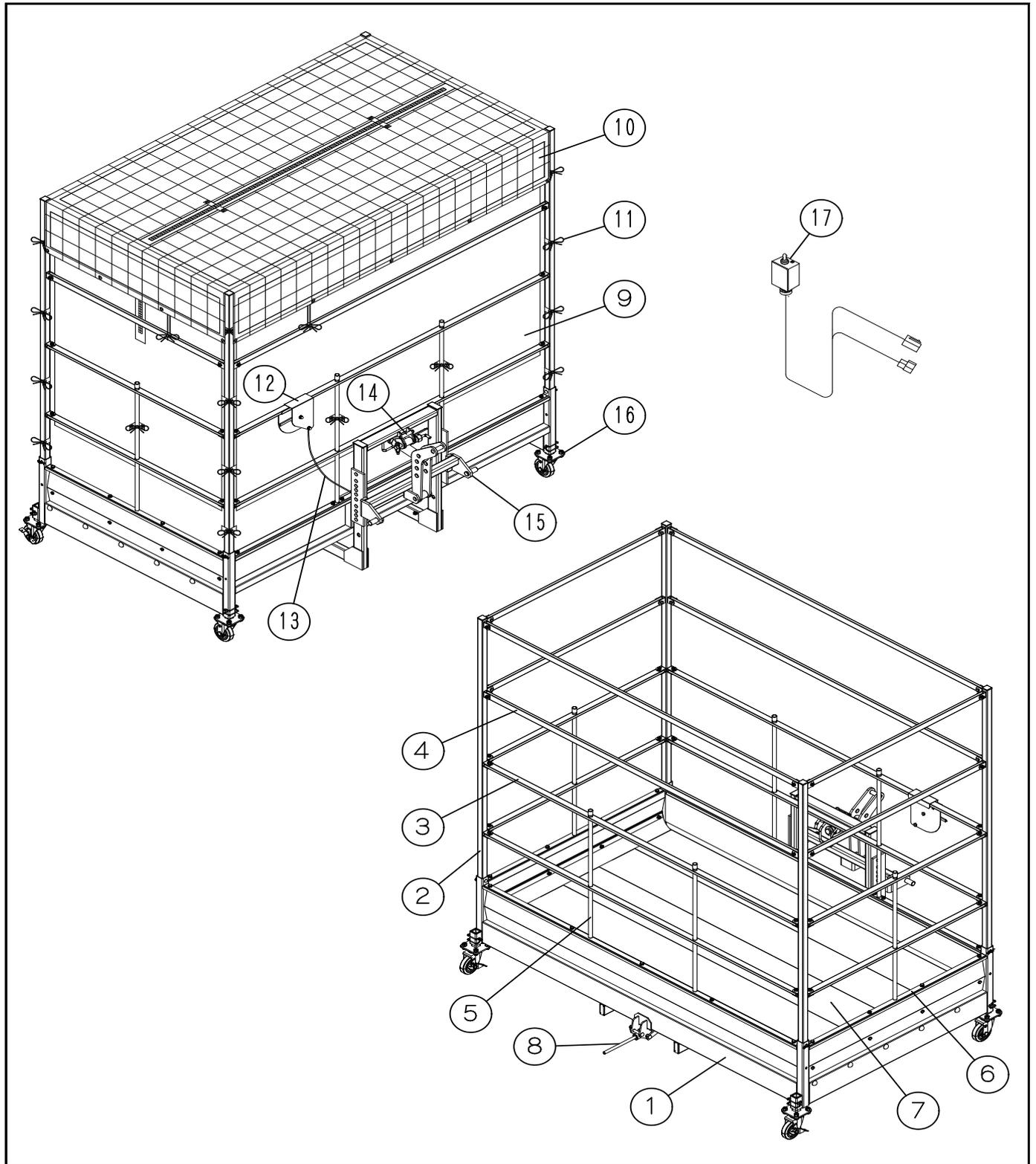
本機装着時には公道の走行は禁止です。走行はしないでください。

必ず本機を取り外して走行してください。

▲道路運送車両法違反になります。

<p>運転前の注意事項</p> <p> 注意</p>	<p>2) 改造は禁止</p> <p>本機の改造はしないでください。純正部品以外は使用しないでください。</p>
<p>点検・整備の注意事項</p> <p> 警告</p>	<p>1) 点検・整備・修理・掃除はトラクターのエンジンを停止させる</p> <p>点検・整備・修理・掃除をトラクターに装着している状態で行う時はトラクターのエンジンを停止してください。</p> <p><u>▲機械に巻き込まれて事故を起こすおそれがあります。</u></p>
<p>点検・整備の注意事項</p> <p> 注意</p>	<p>1) 点検・整備をする</p> <p>本機を使用する前と後には点検・整備をしてください。</p> <p><u>▲機械の早期破損をまねくおそれがあります。</u></p> <p>2) 点検・整備は平らで安定している場所で行う</p> <p>交通の障害にならず安全で、機械が倒れたり動いたりしない平らで安定している場所で行ってください。</p> <p><u>▲機械に巻き込まれて事故を起こすおそれがあります。</u></p>
<p>作業時の注意事項</p> <p> 警告</p>	<p>1) 脱着は平らで安定している場所で行う</p> <p>本機の脱着は平らで安定している場所で行ってください。</p> <p>2) 周辺に人を近づけない</p> <p>トラクターと本機の周辺に人が入らないようにしてください。</p> <p><u>▲事故を起こすおそれがあります。</u></p> <p>3) 下に潜ったり足を入れない</p> <p>本機の下に潜ったり足を入れないでください。</p> <p><u>▲事故を起こすおそれがあります。</u></p>
<p>作業時の注意事項</p> <p> 注意</p>	<p>1) トラクターにより自動昇降装置が付いている機種があります。</p> <p>必ずOFFにしてください。または、油圧レバーはゆっくり上げトラクターのフェンダーやキャビン等に接触しないか確認してください。</p> <p>2) トラクターのエンジンを停止する前に必ず油圧を下げてください。</p>

【各部名称】 MGC-301

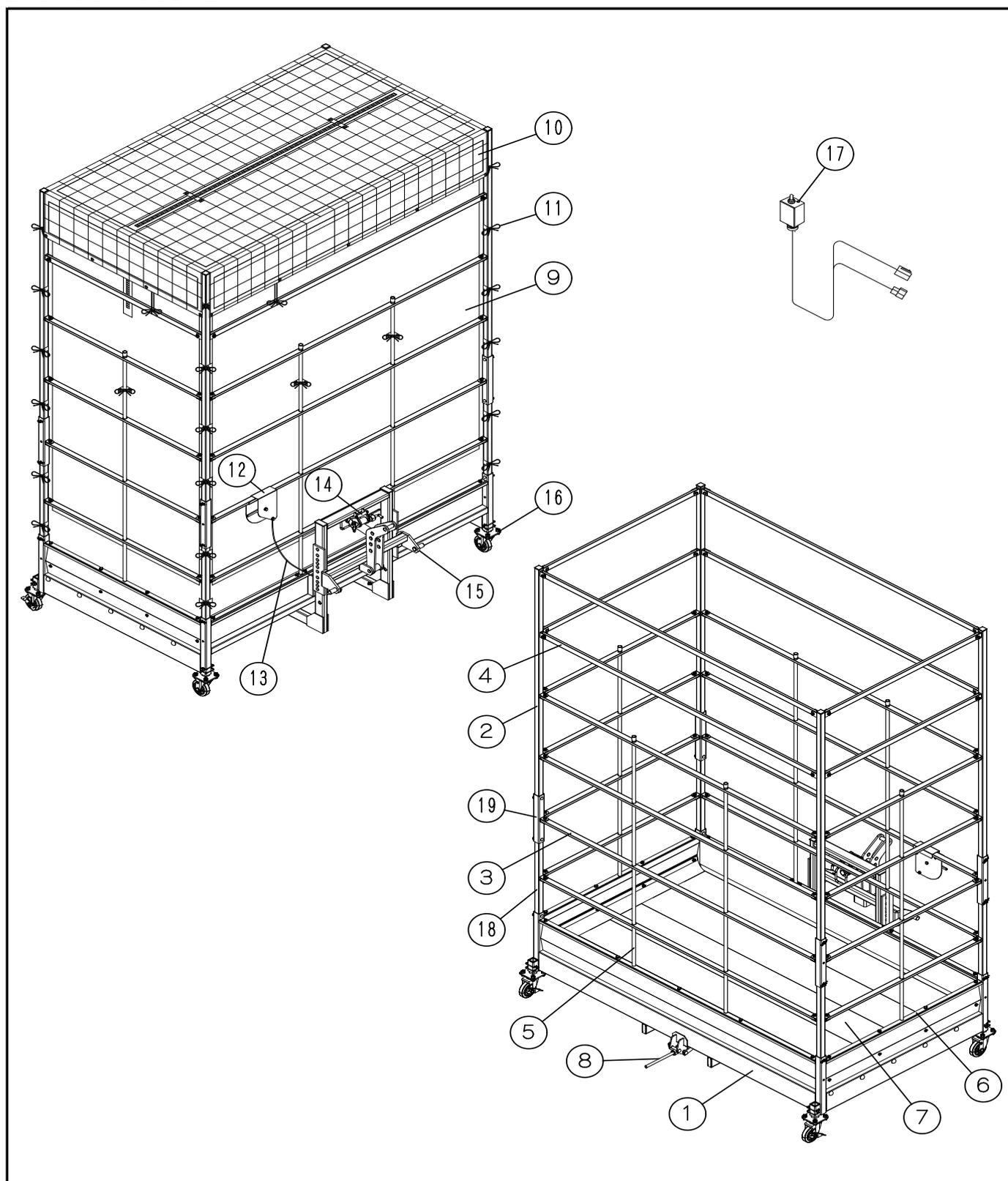


- 1. 本体フレーム
- 2. 側面枠A
- 3. 穴あり角パイプ
- 4. 穴なし角パイプ
- 5. 丸パイプ
- 6. プレート
- 7. シャッター

- 8. 開閉ハンドル
- 9. 下部シート
- 10. 上部メッシュシート
- 11. しばり紐
- 12. 開閉ゲージ
- 13. ワイヤ
- 14. ガード

- 15. ヒッチ金具
※規格により形状は異なります。
- 16. 自在キャスター
- 17. 開閉リモコン

【各部名称】 MGC-401



1. 本体フレーム

2. 側面枠A

3. 穴あり角パイプ

4. 穴なし角パイプ

5. 丸パイプ

6. プレート

7. シャッター

8. 開閉ハンドル

9. 下部シート

10. 上部メッシュシート

11. しばり紐

12. 開閉ゲージ

13. ワイヤ

14. ガード

15. ヒッチ金具

※規格により形状は異なります。

16. 自在キャスター

17. 開閉リモコン

18. 側面枠B

19. 側面枠C

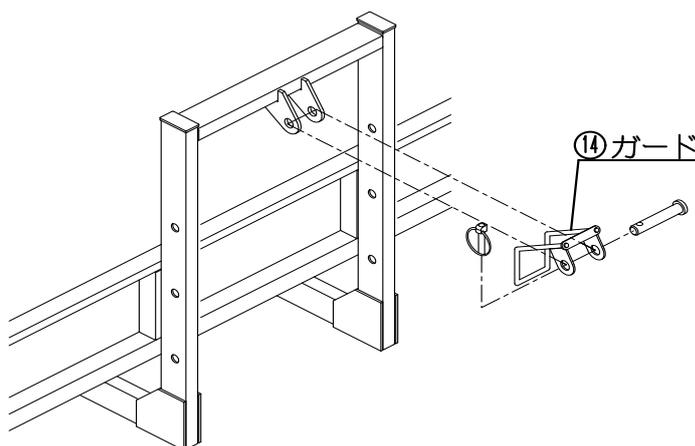
【 枠 組み立て順序 】 MGC-301

※ 高所の作業が必要なため、脚立などを利用される場合は足元に十分注意してください。

※ 本体フレームのヒッチ金具取付面を前面とします。

- 1) ⑨下部シートを⑦シャッター上で広げます。
- 2) ⑨下部シートすそに穴があいているので、①本体フレームと⑥プレートでシートを挟み、ボルト・M8×20、ばね座金で貫通させて固定します。
前面はボルト・M8×35、平座金、ばね座金、ナットで固定します。
※ シートはすその穴の配置により、前後があります。
※ シートを張るとき、①本体フレームとのすきまが四隅にできないようにしてください。
- 3) ①本体フレームの四隅に②側面枠Aを差し込み、丸頭ピン、Rピンで固定します。
- 4) ③穴あり角パイプをボルト・M8×30、ばね座金、ナットで固定します。
- 5) ③穴あり角パイプの穴に、上から⑤丸パイプを通していきます。
- 6) ④穴なし角パイプをボルト・M8×30、ばね座金、ナットで固定します。
- 7) ⑨下部シートを持ち上げて最上部の④穴なし角パイプを巻き込み、ハトメに通した⑪しばり紐(長)を引っ張りあげて④穴なし角パイプにしばります。
※ シートを張るとき、②側面枠Aとのすきまが四隅にできないようにしてください。
- 8) ⑨下部シートについているとめ部を、⑪しばり紐(短)で枠にしばります。
- 9) ⑩上部メッシュシートをかぶせ、ゴムとフックでとめてください。
※ 上部メッシュシートを張るとき、②側面枠Aとのすきまが四隅にできないようにしてください。
- 10) ⑫開閉ゲージをナイロンリピータイで固定してください。
- 11) 配線と開閉ゲージの⑬ワイヤーをナイロンケーブルタイ・リピータイで装着の妨げにならない所にとめてください。
- 12) ⑭ガードを平頭ピンとリンクピンで取り付けます。 ※アジャスターとシートの干渉を防ぎます。

※ ⑭ガードの取り付け方向に注意してください。



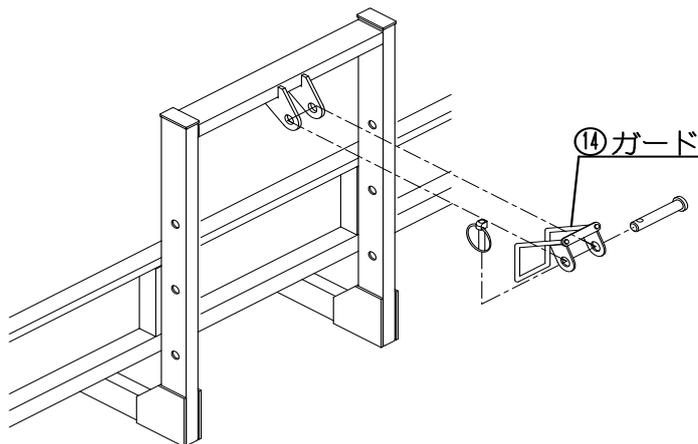
【 枠 組み立て順序 】 MGC-401

※ 高所の作業が必要なため、脚立などを利用される場合は足元に十分注意してください。

※ 本体フレームのヒッチ金具取付面を前面とします。

- 1) ⑨下部シートを⑦シャッター上で広げます。
- 2) ⑨下部シートすそに穴があいているので、①本体フレームと⑥プレートでシートを挟み、ボルト・M8×20、ばね座金で貫通させて固定します。
前面はボルト・M8×35、平座金、ばね座金、ナットで固定します。
※ シートはすその穴の配置により、前後があります。
※ シートを張るとき、①本体フレームとのすきまが四隅にできないようにしてください。
- 3) ①本体フレームの四隅に⑱側面枠Bを差し込み、丸頭ピン、Rピンで固定します。
- 4) ⑱側面枠Bに⑲側面枠Cを差し込み、さらに②側面枠Aを差し込んで丸頭ピン、Rピンで固定します。
- 5) ③穴あり角パイプをボルト・M8×30、ばね座金、ナットで固定します。
- 6) ③穴あり角パイプの穴に、上から⑤丸パイプを通していきます。
- 7) ④穴なし角パイプをボルト・M8×30、ばね座金、ナットで固定します。
- 8) ⑨下部シートを持ち上げて最上部の④穴なし角パイプを巻き込み、ハトメに通した⑩しばり紐(長)を引っ張りあげて④穴なし角パイプにしばります。
※ シートを張るとき、②側面枠Aとのすきまが四隅にできないようにしてください。
- 9) ⑨下部シートについているとめ部を、⑩しばり紐(短)で枠にしばります。
- 10) ⑩上部メッシュシートをかぶせ、ゴムとフックでとめてください。
※ 上部メッシュシートを張るとき、②側面枠Aとのすきまが四隅にできないようにしてください。
- 11) ⑫開閉ゲージをナイロンリピータイで固定します。
- 12) 配線と開閉ゲージの⑬ワイヤーをナイロンケーブルタイ・リピータイで装着の妨げにならない所にとめてください。
- 13) ⑭ガードを平頭ピンとリンクピンで取り付けます。 ※アジャスターとシートの干渉を防ぎます。

※ ⑭ガードの取り付け方向に注意してください。



【トラクターへの装着の仕方】

1. トラクター装着の規格について

- ・ オートヒッチ(日農工特殊3点オートヒッチ/日農工標準3点オートヒッチ)
 - ・ 標準3点リンク
- 以上の規格で設計しています。他の規格では装着ができません。

⚠ 注意

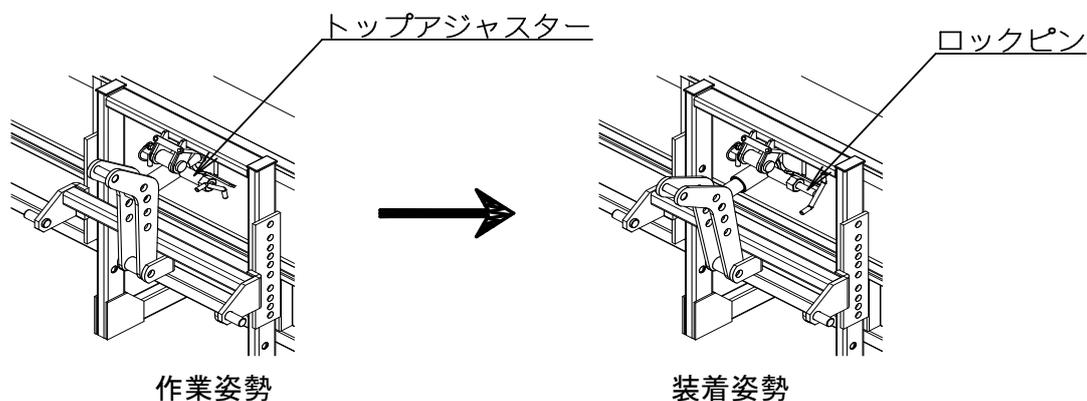
- ・ トラクター装着が規格に合っているか、トラクターの取扱説明書を読んで確認してください。もみがらキャリアのヒッチ金具も規格によって異なります。合わない場合は取り付けができなかったり、本機の破損の原因になります。
- ・ トラクターにより自動昇降装置が付いている機種があります。必ずOFFにしてください。または、油圧レバーはゆっくり上げトラクターのフェンダーやキャビン等に接触しないか確認してください。

⚠ 警告

- ・ もみがらキャリアの装着は平らで安定している場所で行ってください。
- ・ トラクターと、もみがらキャリアの周辺に人が入らないようにしてください。
- ・ もみがらキャリアの下にもぐったり、足をいれないでください。

2. オートヒッチ(日農工特殊3点オートヒッチ/日農工標準3点オートヒッチ)の装着順序

- 1) 本体にヒッチ金具を取り付けてください。(附属箱に入っているヒッチ金具取付図参照)
- 2) トップアジャスターのロックピンを解除し、トップマストを前傾にしてください。



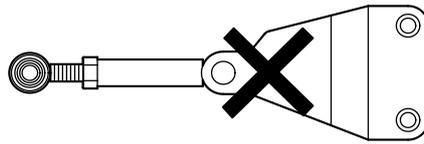
※ 規格によりヒッチ金具形状は異なります。

- 3) トラクター側ヒッチのロックを解除し、もみがらキャリア ローアピンブラケットが装着可能な状態にしてください。
- 4) トラクターをゆっくりバックさせながら油圧レバーを下げ、トラクター側のトップフックをもみがらキャリアのトップマストのピンの下にくぐらせてください。
- 5) もみがらキャリア ローリンクブラケットが左右きちんとロックされている事を確認してください。ローリンクブラケットが入らない場合は、トラクターの右側リフトロッドを伸縮させ、傾きを調整してください。
- 6) トップアジャスターが確実にロックされて、作業姿勢であることを確認してください。
注) トップアジャスターがロックされていない状態で使用すると、破損や事故の原因となります。

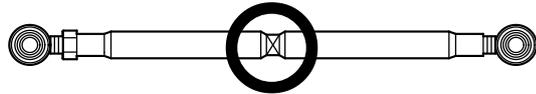
3. 標準3点リンクの装着手順

- 1) 本体にローアピンブラケット及びローアピンを取り付けてください。
(附属箱に入っているヒッチ金具取付図参照)
- 2) トラクターのローリンクの位置を作業機位置にしてください。
- 3) もみがらキャリアのローピンブラケットのピンに、トラクターのローリンクを取り付けてください。
リフトレベルリングの無い方から装着してください。
- 4) もみがらキャリアのトップリンクをトラクターのトップリンクホルダーに連結してください。
尚、トラクターに特殊3点ブラケットが付いている場合は取り外し、トップリンクを標準3点リンク用の長いトップリンクと付け替えてください。

× 日農工特殊3点リンクのトップリンク

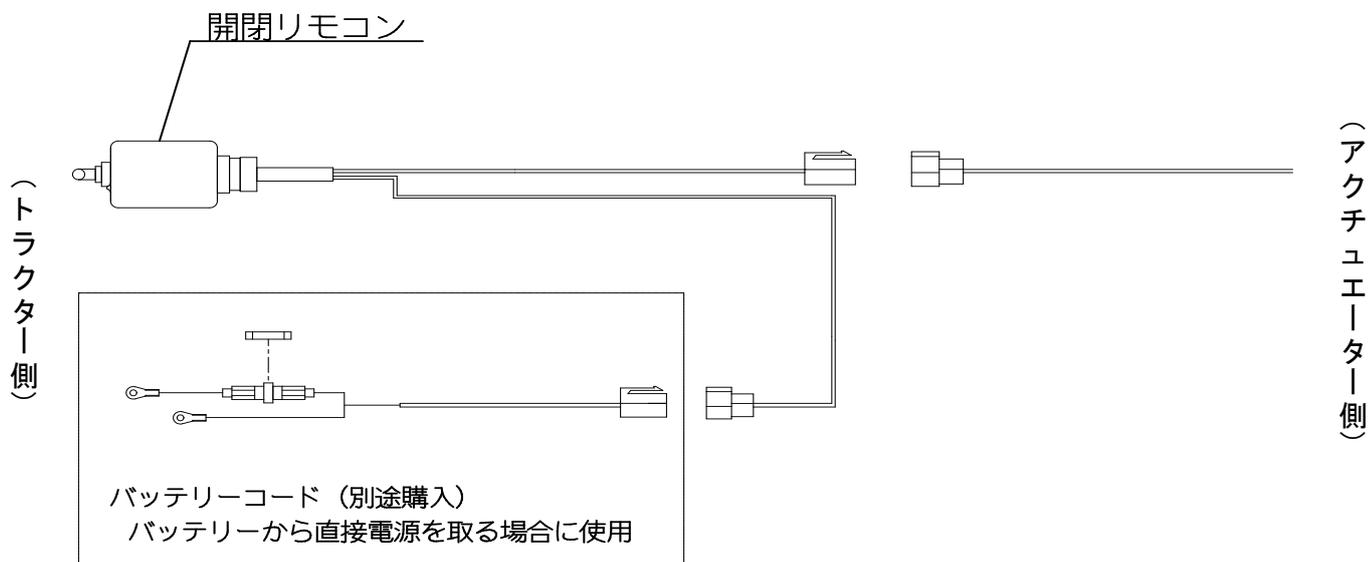


○ 標準3点リンクのトップリンク



【配線図】

※電源はトラクターの室内電源に接続してください。

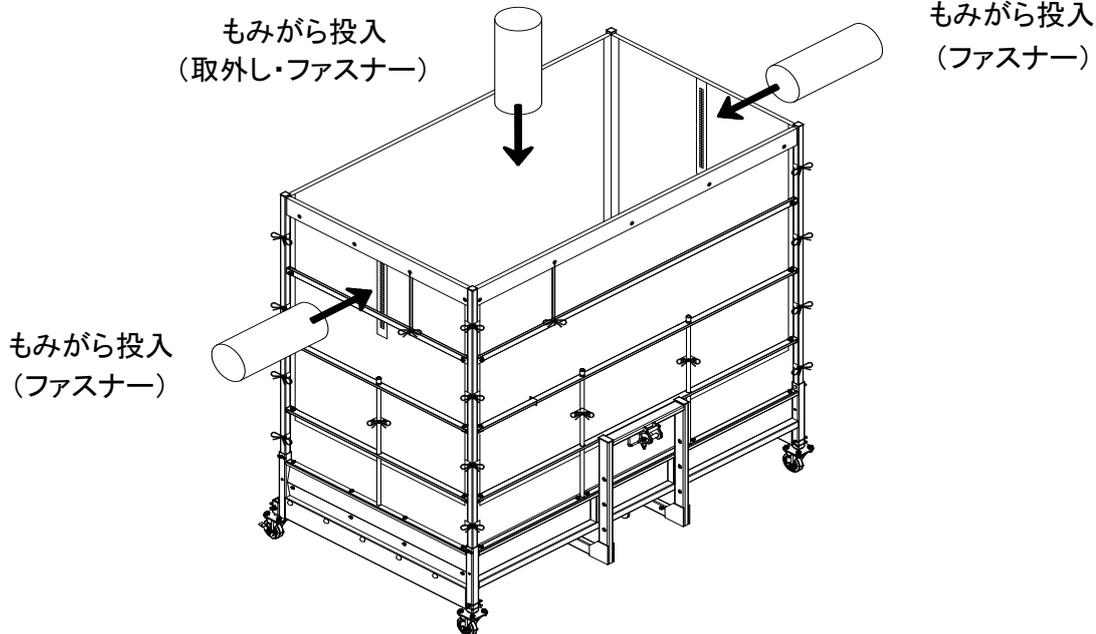


【 もみがらの投入と注意点 】

もみがらの投入

上部メッシュシートは取り外し可能です。

また、上部・左右にファスナーが付いていますので、立地条件により使用する箇所のファスナーを開き、もみがらを投入してください。



⚠ もみがら投入の注意点

- ・ 初めて使用される時は、もみがら投入量を加減してトラクターとの重量バランスを確認してください。
- ・ キャスターは外してください。
- ・ 開閉リモコンを操作しシャッターの開閉を確認してください。
- ・ シャッターは必ず締めてください。
- ・ もみがらを投入する際は、吐出口から勢いよく出たもみがらが、シートやネットに直接当たらないよう吐出方向や角度に注意してください。(シートが擦り切れる場合があります。) 直接当たる場合は、板などをあてがうなどの措置をしてください。
- ・ 後方荷重のためトラクターにバランスウェイトを取り付ければ安心して作業が行えます。
- ・ 雨天の場合はもみがら投入量を加減してください。もみがらが水分を含み重量が増えます。

【もみがらの散布と注意点】

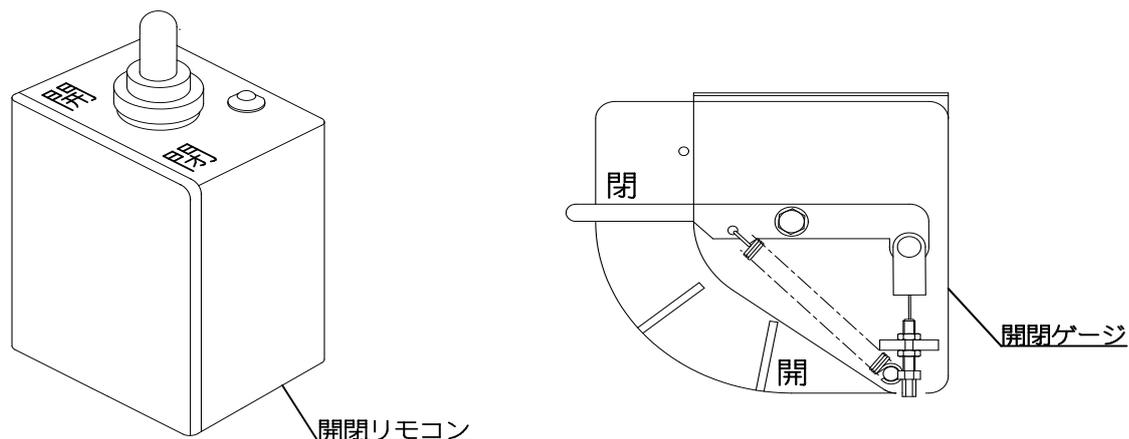
1. もみがらの散布

開閉リモコンのスイッチを”開”のほうに倒すとシャッターが開き、投入したもみがらが落ち始めます。
スイッチを”閉”のほうに倒すとシャッターが閉まります。

※ シャッターは開閉リモコンのスイッチを倒している間だけ開/閉し、手を離すとその位置で止まります。

※ シャッターを開けると開閉ゲージの指針が下降し、閉めると上昇します。

目盛りは散布量の目安にしてください。



⚠ もみがら散布の注意点

- ・ トラクターの油圧を持ち上げる際、本機がトラクターにぶつからないよう充分注意してください。
- ・ はし板(アユミ板)は圃場入口段差の4倍以上の長さのものを選択してください。
確実に固定し低速での乗り入れをお願いします。
- ・ 急発進や急ブレーキ、急旋回はしないでください。
- ・ 他の車両や人・障害物に充分注意してください。
- ・ 停止した状態でシャッターを開いてください。
運転しながらのリモコン操作は非常に危険です。停止した状態で行ってください。

2. 作業途中で、もみがらが中に入った状態でシャッターが開かなくなった場合は、次の操作を行ってください。

⚠ 注意

- ・ シャッターは、勢いよく開きます。手や指など挟まないよう充分注意してください。

作業手順（下図参照）

(1) シャッターを開く場合

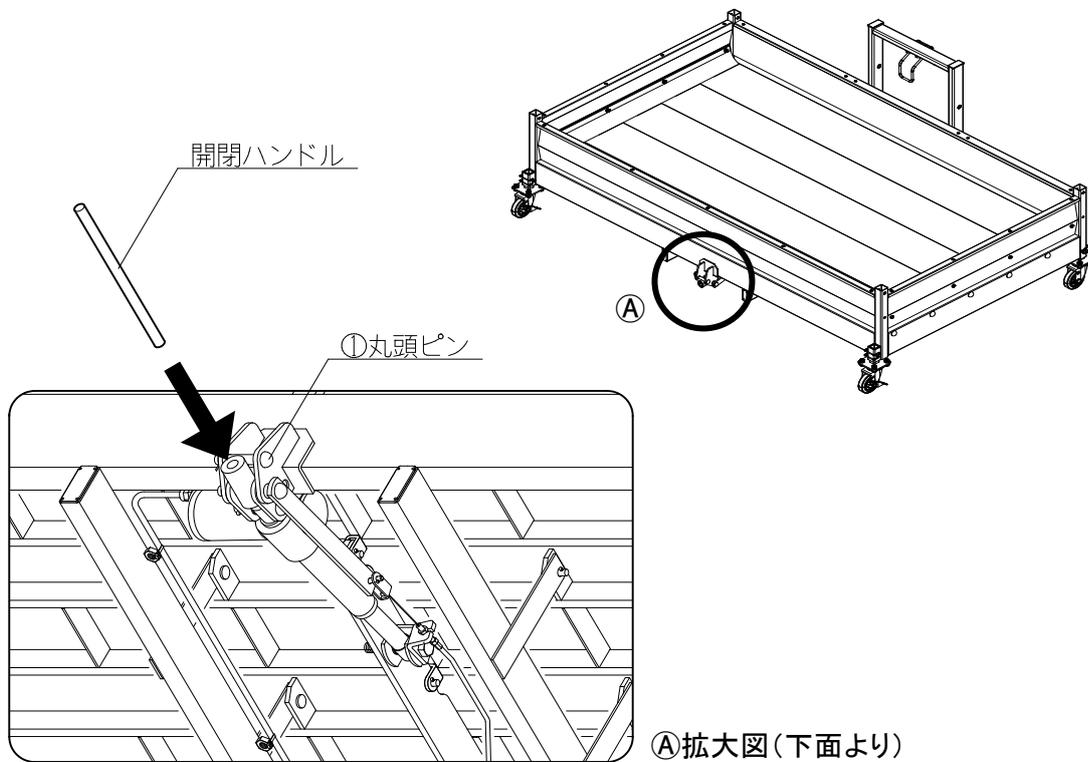
開閉ハンドルを矢印の位置に取付け、下方に押付けた状態にし、Rピン、ワッシャーを外し

①丸頭ピンを抜いてください。自重でシャッターが開きます。

(2) もみがらを排出後、シャッターを閉じる操作を行ってください。

開閉ハンドルを矢印の位置に取付け、下方に押付けるとシャッターが閉じます。

①丸頭ピンを挿入し、ワッシャー、Rピンで固定してください。



①A 拡大図(下面より)

※ 作業不良が発生した場合、ご自分で分解、改造することなく速やかに販売店へご連絡ください。

【 清掃と注意点 】

作業終了後はきれいに掃除してください。

掃除時の注意点

- ・ 水洗いできますが、アクチュエーター・電気配線には水をかけないでください。
- ・ シートは濡れた状態で折りたたまないでください。
きちんと乾かしてから保管してください。
- ・ 長期間使用しない場合は屋内に保管してください。

【 次年度使用時の確認 】

1. シャッターが開閉するか確認してください。
2. 開閉ゲージが作動しているか確認してください。
3. シートが破損していないか確認してください。
4. 各部摩耗、亀裂がないか確認してください。
※万が一、亀裂等見つけた場合は早急な対応をおすすめします。

【 オプション 】

- ・ テールランプ(ブレーキ・方向指示)
- ・ 強化キャスター

【 吊り上げ作業と注意点 】

吊り上げ作業

- ・必ず指定された4ヶ所で吊ってください。(下図 ○印部分)
- ・もみがら等、中に何も入っていない状態で吊ってください。
- ・吊り具は長さに余裕のあるものをお選びください。

⚠ 吊り上げ作業の注意点

- ・2ヶ所吊りはしないでください。破損、変形のおそれがあります。
- ・吊り上げた状態での点検・整備はしないで下さい
- ・下に潜ったりしないでください。

▲誤った使い方をすると事故や機械の破損をまねくおそれがあります。

【 フォークリフトでの運搬作業と注意点 】

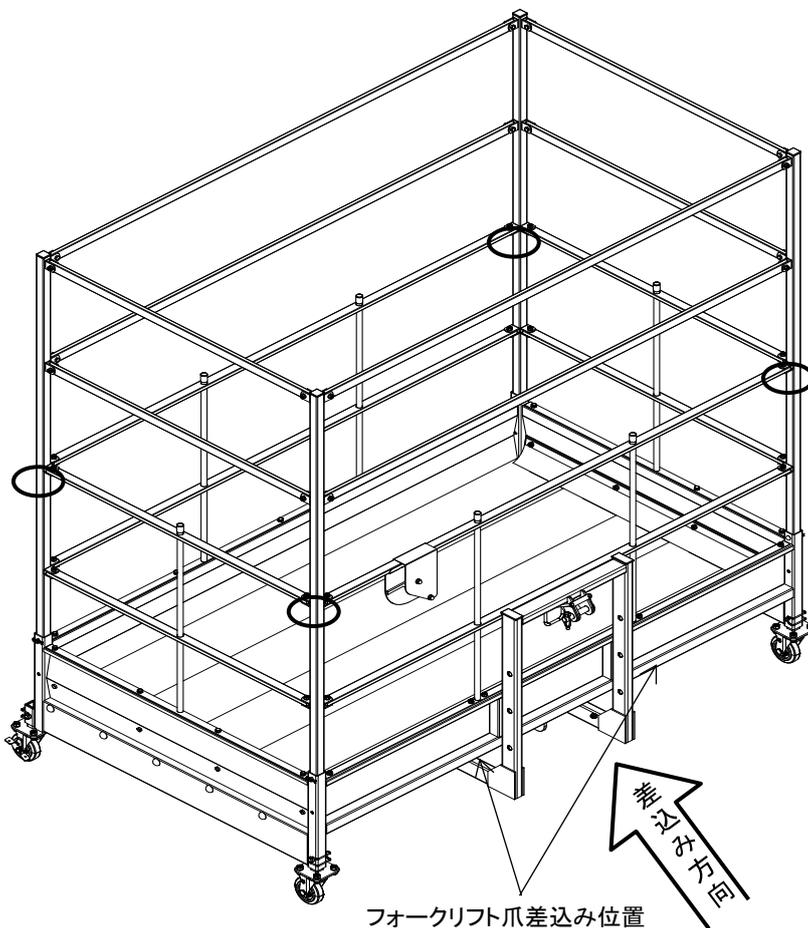
フォークリフトでの運搬作業

- ・必ずシャッターを閉じてから行ってください。
- ・必ず指定された方向より爪を差し込んでください。(下図参照)
- ・フォークリフトの爪は、延長された爪を使用して運搬を行ってください。

⚠ フォークリフトでの運搬作業の注意点

- ・指定された方向以外より爪を差し込まないでください。
バランスを崩すおそれがあります。
- ・製品を上げた状態での点検・整備はしないでください。
- ・下に潜ったりしないでください。

▲誤った使い方をすると事故や機械の破損をまねくおそれがあります。





株式会社 富士トレーラー製作所

〒959-0310 新潟県西蒲原郡弥彦村美山6606番地
TEL(0256)94-5551(代) ・ FAX(0256)94-5555
<http://fuji-trailer.co.jp>

秋田営業所	／	〒014-0073	秋田県大仙市内小友字中沢263-4	TEL (0187)68-4511 (代) FAX (0187)68-4855
鷹巣営業所	／	〒018-3301	秋田県北秋田市綴子字佐戸袋5-21	TEL (0186)63-2384 (代) FAX (0186)63-2385
酒田営業所	／	〒998-0852	山形県酒田市こがね町2丁目1番地の10	TEL (0234)23-3791 (代) FAX (0234)23-3790
古川営業所	／	〒989-6135	宮城県大崎市古川稲葉字浦田137-2	TEL (0229)25-6536 (代) FAX (0229)25-6537
大宮営業所	／	〒331-0811	埼玉県さいたま市北区吉野町2丁目268番地3	TEL (048)652-3877 (代) FAX (048)652-0729
新潟営業所	／	〒959-0310	新潟県西蒲原郡弥彦村美山6606番地	TEL (0256)94-3141 (代) FAX (0256)94-5734